

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

子育て共助のまちづくり「舟橋型子育て支援」計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

富山県中新川郡舟橋村

3 地域再生計画の区域

富山県中新川郡舟橋村の全域

4 地域再生計画の目標

本村の人口は、住民基本台帳によると 2023 年 9 月時点で 3,284 人と微増しているが、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040 年には総人口が 2,617 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は 2010 年の 647 人をピークに減少し、2023 年には 546 人となる一方、老年人口（65 歳以上）は 2000 年の 319 人から 2023 年には 623 人と増加の一途をたどっており、また、生産年齢人口（15～64 歳）は 2023 年には 2,131 人と増加の一途であり、今後少子高齢化が進展することが見込まれる。

自然動態をみると、出生数は 2009 年の 39 人をピークに減少傾向にあり、2022 年には 27 人となっている。死亡数は、2022 年には 33 人で、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲6 人（自然減）となっている。また、合計特殊出生率については、2022 年に 1.49 となっており、県平均の 1.46 を上回っている。

社会動態をみると、2015 年には転出者（113 人）が転入者（74 人）を上回る社会減（39 人）であった。しかし、住宅開発等により転入者が増加し、2017 年から 2021 年にかけて毎年約 50 人の社会増となり、2022 年には 4 人の社会増となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）が原因であるが、転入者の数が減少すれば、社会減に転じる可能性がある。

今後、人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足、さらに

は地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、公園を拠点とした子育て共助のまちづくりを推進することにより、自然増につなげる。また、ライフスタイルに合わせた小さなビジネス支援等、多様な魅力ある仕事づくりを推進することにより、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 “すまう”を応援
- ・基本目標2 “うまれる、そだつ”を応援
- ・基本目標3 “はたらく”を応援
- ・基本目標4 “たのしむ”を応援

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	子育て世代の転入世帯数	172世帯 (H27~R 1延べ)	8世帯	基本目標1
イ	合計特殊出生率	1.48	1.79	基本目標2
	出生者数	27人	30人	
ウ	事業者・起業家数 (プチ起業(週末起業・育 児休業中起業)含む)	0人	1人	基本目標3
エ	主体的参加者数	0人	10人	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

子育て共助のまちづくり「舟橋型子育て支援」事業

ア “すまう” を応援事業

イ “うまれる、そだつ” を応援事業

ウ “はたらく” を応援事業

エ “たのしむ” を応援事業

② 事業の内容

ア “すまう” を応援事業

本村の人口構造を維持するため、移住・定住を促進する事業

【具体的な事業】

- ・メディアの活用による情報発信
- ・視察対応等による「村の取り組み」のPR
- ・子育てコミュニティの情報発信
- ・空き家の活用による移住促進
- ・子育て世帯と賃貸物件のマッチング 等

イ “うまれる、そだつ” を応援事業

他の自治体との人口の奪い合いに終始せず、舟橋型子育て支援の深化により、出生率・出生数の向上を目指す事業

【具体的な事業】

- ・家族単位の実情に応じた子育て支援
- ・子育て支援センターの運営
- ・連続的な子育て支援
- ・パークマネジメントによる子育て共助の推進
- ・ICTを活用した舟橋型（子育て）人材の発掘・育成 等

ウ “はたらく” を応援事業

住まう人々の”豊かな暮らし”を実現するために、魅力ある新しいし

ごとづくりに努める事業

【具体的な事業】

- ・月イチひるいちの開催
- ・月イチばざーの開催
- ・起業者向け勉強会の開催 等

エ “たのしむ” を応援

本村での暮らしを豊かにし、本村での暮らしを楽しむための取り組みを支援する事業

【具体的な事業】

- ・月イチむらふえすの開催
- ・家族で休日を楽しめる身近な公園づくり
- ・多世代コミュニティの形成 等

※ なお、詳細は第2期舟橋村総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2023年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度5月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本村公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで